当院で脆弱性骨盤骨折と診断された患者様へ

診療情報を用いた医学研究についてのお知らせ

大分中村病院では、通常の診療で得られた診療情報を用いて、以下の後ろ向き観察研究を実施します。本研究は、大分中村病院倫理審査委員会の承認および病院長の許可を得た研究計画に基づいて実施します。本研究では、研究対象となる患者さんお一人おひとりから改めて文書による同意をいただく代わりに、研究内容を公開し、診療情報の研究利用を希望されない場合にお申し出いただける機会を設けます。

研究への利用を希望されない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

1. 研究課題名:当院における脆弱性骨盤骨折(FFP)のプロトコル改定とクリニカルパス作成について

2. 研究の目的:脆弱性骨盤骨折に対して、2013 年 Rommens が提唱した脆弱性骨盤骨折(Fragility Fractures of the Pelvis:FFP)を用いて、2018 年に Type 別プロトコル運用し 2020 年に Ia プロトコル改定を行ってきました。今回さらに、プロトコル改定とクリニカルパス作成に至ったため報告を目的とします。

3. 研究の対象となる方:2024 年 1 月から 2025 年 12 月までに、大分中村病院において、脆弱性骨盤骨折と診断された患者様を対象とします。予定症例数は 56 例です。

4. 研究に利用する診療情報:通常診療で既に得られている以下の情報を診療録から収集し、研究に利用します。

・年齢、性別 ・脆弱性骨盤骨折の TYPE ・手術有無 ・在院日数 ・療法士による立位訓練開始までの日数

・入院前移動形態 ・退院時移動形態

5. 研究期間および情報利用の開始予定日

研究期間:2026 年 10 月 28 日 ～ 2027 年 2 月 27 日、 情報公開期間:2026 年 11 月 1 日 ～ 2026 年 2 月 27 日

6. 個人情報の保護:研究対象となる患者さんには研究用 ID を付与し、研究用データには氏名など個人を直接特定できる情報を記載しません。研究用 ID と患者情報を対応させる対応表はパスワードで保護し、適切に管理します。研究成果を学会や医学雑誌等で公表する場合にも、患者さん個人が特定される情報を公表することはありません。

7. 研究への診療情報の利用を希望されない場合:ご自身の診療情報を本研究に利用することを希望されない場合は、下記の問い合わせ先までお申し出ください。お申し出があった場合は、研究結果の公表後など除外が困難な場合を除き、当該患者さんの情報を研究対象から除外します。研究への利用を拒否された場合でも、今後の診療において不利益を受けることはありません。

8. 研究成果の公表:本研究の成果は、個人が特定されない形で医学関連学術集会での発表や医学雑誌への論文投稿等により公表します。

9. 研究資金および利益相反:本研究に特定の研究資金は用いません。本研究の実施および成果公表に関して、開示すべき利益相反はありません。

10. 研究責任者・問い合わせ先:研究責任者:大分中村病院 リハビリテーション部 井手 宗樹

問い合わせ先:大分中村病院 リハビリテーション部 井手 宗樹

電話番号:097-536-5050

受付時間:平日(月曜日～金曜日 8:30～17:30)